



3月20日(祝・土)「おかえりなさい。むつき庵 2021」

facebook おむつフitter倶楽部グループ Live にご参加ありがとうございました。



2020年むつき庵はおむつフitter研修の開催中止や、「バリアフリー2020」の開催中止、「おかえりなさい。むつき庵2020」、「はいせつケア実践報告会」、おむつフitter倶楽部研修ツアーの中止と大変厳しい一年でした。そんな中でも、丁寧な感染防止の対策をとりながら、開催規模を縮小しながらもおむつフitter研修を再開してきました。そして、何とかおむつフitterの皆様とのつながりを大切にしたいと、3月20日『おかえりなさい。むつき庵2021』を企画し準備してきました。ぎりぎりまで皆さんにお越しいただいて開催しようと準備を進めましたが、なかなかコロナ禍の終息が見えない中、はじめての取り組みとして facebook おむつフitter倶楽部グループの Live 配信で開催することが出来ました。

当日はおむつフitter倶楽部世話人の三谷さん・熊井さん・三宅さん・堺谷さん・中本さん・焼田さん・岡崎さんとむつき庵スタッフが運営にあたりました。ミニミニ実践報告会へエントリー参加して下さった白草さん・岡崎さんのお二人、事例検討会には事前に参加申し込みをいただいたむつき庵認定講師の茨木さん・木本さん・焼田さん・森田さんにご参加いただき、楽しくまたとても内容の濃い催しとなりました。

プログラムはおむつフitter倶楽部世話人代表の三谷さんとむつき庵代表のご挨拶の開会セレモニーの後①ミニミニ実践報告会②むつき庵スタッフによるおむつの製品紹介と堺谷さんの廃番となった用具の紹介③事例検討会④おむつのサイズ当てクイズ⑤むつき庵代表浜田きよ子の記念講演⑥参加者からのひとことメッセージでした。

当日の様子は facebook おむつフitter倶楽部グループにて動画配信中です。



リポート⑭ 堺谷珠乃さん

今年2月に父が永眠しました。重篤な病気が見つかり亡くなるまでを自宅で介護しました。思いつくすべての福祉用具を用意し、状態の変化に応じた排泄用具も用意しました。「父へは、痛みなく眠るように最後を迎えてほしい。」「私自身は、褥瘡・拘縮を作らない。腰痛を起こさない。後悔しない介護をする。」完璧ではありませんが悔いなく看取ることができました。父から一緒に過ごす最後の贈り物もらい、むつき庵で学んだことが活かされ、おむつフitterであることに感謝した大切な時間を過ごすことができました。

語るできよちゃん



「ケアは人と人とのあいだにあるもの」と、私は常々思ってきました。そうだとすれば、ケアは相手とのコミュニケーションです。でも現状はそうではなく、介護者が「この人は立てない」などと決めてケアを行っています。

その人の動き出しに気づくまで、主体としてのその人に出会います。そこからケアする人、される人という関係が変わっていきます。

リハビリテーションの語源は、再び人間らしく生きるという意味であり、名誉回復や復権という意味で、ジャンヌ・ダルクのリハビリテーションという言葉もあります。ケアがその人の復権、その人らしさをしっかり守り、取り戻すものであるためにも、「動き出しは本人から」の実践が広がることを願います。

(BetterCare2020 冬号 No86 より) 内田

バリアフリー2021「おむつコーナー」開設のご案内

会期：2021年8月25日(水)～27日(金)

準備日8月24日(火)

会場：インテックス大阪

☆新型コロナウイルス感染対策

のため平日に開催されます



新型コロナウイルス感染拡大が続き、なかなか先行きが見えない状況が続いています。バリアフリー展は昨年の開催が中止され、今年も4月開催を延期し、8月開催に向けてバリアフリー展事務局が準備を進められています。むつき庵は事務局より「おむつコーナー」開設について今年も依頼を受けて、準備を進めているところです。

バリアフリー展開催にあたっては、何よりも感染防止の対策が大切になります。「おむつコーナー」は毎年大勢の方にご来場いただき人気のコーナーとなっています。むつき庵とおむつフitter倶楽部世話人会では、ボランティアさんの人数を制限すること、ブース内での密を避けること、直接触れてみる展示を避けるなど、具体的な対策について検討をしています。



6月下旬にバリアフリー展全体の具体的な体制が確定するのを受けて、むつき庵でも具体化します。「おむつコーナー」の在り様とボランティアさんの募集などについて確定次第、むつき庵ホームページ・facebook・line グループでお知らせいたします。

ご都合のつく方は、ぜひ日程を開けていただきますようお願いいたします。